

# 業務状況説明書

(令和3年4月1日から令和3年9月30日まで)

新座市水道事業

# 目 次

1	令和3年度上半期の状況	
(1)	事業の概況	1
(2)	経理の状況	2
2	令和2年度決算の状況	
(1)	事業の概況	3
(2)	経理の状況	3

## 1 令和3年度上半期の状況

### (1) 事業の概況

#### ア 営業

令和3年度上半期における給水人口は166,072人で、前年同期と同数となっており、総配水量は8,877,921m<sup>3</sup>で、前年同期に比べ36,990m<sup>3</sup>の減少となっています。なお、配水量は1日最大では52,169m<sup>3</sup>、1日平均では48,513m<sup>3</sup>となっています。

また、収益的収入の執行率は43.8%で、主なものは水道使用料1,158,213千円です。収益的支出の執行率は28.8%で、主なものは受水費460,394千円です。

資本的収入の執行率は10.4%で、主なものは分担金63,470千円です。資本的支出の執行率は22.1%で、主なものは企業債償還金118,315千円、改良費148,857千円（予算繰越分含む）です。

#### イ 建設改良

建設改良事業としては、老朽化した配水管の布設替工事等を実施し、配水管の耐震強化及び漏水事故の防止を図り、有収率の向上に努めています。

また、安全で清浄な水を安定して供給するため、水道施設の老朽化、耐震化及び安全対策をより一層推進しています。

## (2) 経理の状況（税込み）

上半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出（営業関係）（単位：千円）

科 目		予算現額	執行額	執行率
収 入	事業収益	2,710,426	1,185,911	43.8%
	営業収益	2,314,180	1,161,003	50.2%
	営業外収益	396,236	24,594	6.2%
	特別利益	10	314	3,138.8%
支 出	事業費	2,628,631	756,157	28.8%
	営業費用	2,558,157	736,295	28.8%
	営業外費用	64,473	19,504	30.3%
	特別損失	20	358	1,790.0%
	予備費	5,981	-	-%

イ 資本的収入及び支出（資産関係）（単位：千円）

科 目		予算現額	執行額	執行率
収 入	資本的収入	610,211	63,470	10.4%
	企業債	400,000	0	-%
	分担金	198,979	63,470	31.9%
	負担金	11,232	0	-%
支 出	資本的支出	1,593,730	351,532	22.1%
	建設改良費	1,296,813	180,637	13.9%
	//（予算繰越分）	54,228	52,580	97.0%
	企業債償還金	238,764	118,315	49.6%
	予備費	3,925	-	-%

## 2 令和2年度決算の状況

### (1) 事業の概況

#### ア 業務状況

令和2年度末における給水人口は166,100人で、前年度に比べ261人(0.2%)の増加となりました。

また、総配水量は17,870,946<sup>m</sup>で、前年度に比べ517,407<sup>m</sup>(3.0%)の増加となりました。この内訳は、県水受水が13,567,730<sup>m</sup>(占有率75.9%)、地下水が4,303,216<sup>m</sup>(占有率24.1%)となっています。また、有収水量は16,999,223<sup>m</sup>で前年度に比べ528,105<sup>m</sup>(3.2%)増加し、有収率は95.1%で、前年度に比べ0.2ポイント増加しています。

#### イ 建設改良事業

配水管布設工事や配水管布設替工事としての老朽管布設替工事を始め、令和元年度から令和2年度までの2か年の継続事業である西堀3号取水井改修工事及び中央監視装置更新工事のほか、新座団地給水場非常用発電機更新工事、西堀浄水場揚水ポンプ更新工事、西堀3号取水ポンプ・制御盤更新工事等を実施した。

### (2) 経理の状況(税抜き)

#### ア 収益的収支の状況

収益的収入及び支出における事業収益は、2,529,551,502円で前年度に比べ51,338,680円(2.1%)の増加となりました。これは、水道使用料が減少したものの、他会計補助金等が増加したことによるものです。

一方、事業費は2,340,683,818円で、前年度に比べ23,352,507円(1.0%)の減少となりました。これは、委託料、支払利息等が減少したことによるものです。

その結果、188,867,684円の純利益となりました。

(単位 円)

科 目		決算額	構成比
収 入	事業収益	2,529,551,502	100.0%
	営業収益	1,915,814,465	75.7%
	給水収益	1,905,786,983	75.3%
	受託工事収益	4,244,932	0.2%
	その他の営業収益	5,782,550	0.2%
	営業外収益	613,323,886	24.3%
	受取利息及び配当金	1,186,490	0.1%
	長期前受金戻入	305,487,146	12.1%
	雑収益	90,820,472	3.6%
	他会計補助金	215,829,778	8.5%
	特別利益	413,151	0.0%
過年度損益修正益	413,151	0.0%	
支 出	事業費	2,340,683,818	100.0%
	営業費用	2,293,981,501	98.0%
	原水及び浄水費	1,083,057,215	46.3%
	配水及び給水費	150,729,921	6.4%
	受託工事費	3,418,100	0.2%
	業務費	171,753,828	7.3%
	総係費	57,478,059	2.5%
	減価償却費	775,639,262	33.1%
	資産減耗費	51,905,116	2.2%
	営業外費用	45,768,759	2.0%
	支払利息	44,128,530	1.9%
	雑支出	1,640,229	0.1%
	特別損失	933,558	0.0%
	過年度損益修正損	933,558	0.0%

#### イ 資本的収支の状況

資本的収入は598,221,000円で、前年度に比べ143,141,200円(31.5%)の増加となりました。これは、工事負担金は減少しているものの、企業債及び分担金が増加したことによるものです。

資本的支出は1,340,441,470円で、前年度に比べ301,186,946円(29.0%)の増加となりました。これは、建

設改良費が増加したことによるものです。

なお、資本的収入が資本的支出に不足する額827,689,882円（税込み）は、当年度分の消費税及び地方消費税資本的収調整額85,469,412円、過年度分損益勘定留保資金492,220,470円及び建設改良積立金250,000,000円をもって補填しました。

（単位：円）

科 目		決算額	構成比
収 入	資本的収入	598,221,000	100.00%
	企業債	400,000,000	66.9%
	分担金	151,570,000	25.3%
	負担金	46,651,000	7.8%
支 出	資本的支出	1,340,441,470	100.0%
	建設改良費	1,084,628,432	80.9%
	企業債償還金	255,813,038	19.1%